

講義名	観光メディア論 /観光事業論			授業形態	
担当教員	金 承珠	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

本講義では、観光とメディアの密接な関係性について多角的に考察する。従来のガイドブックやテレビ番組などのマスメディアによって形成されてきた観光イメージの構築過程を整理するとともに、現代におけるSNS、Vlog、コンテンツツーリズム（聖地巡礼）、さらにメタバースやAI技術による観光体験の変容についても取り上げる。受講者は、メディアを通じて観光地がどのように記号化され、価値づけられるのかというメカニズムを理解する。その上で、今後の観光プロモーションや地域振興のあり方について、論理的に思考する力を養うことを目的とする。また、各地の観光やニューツーリズムの概念についても学び、具体的な事例を通して観光事業の重要性を理解する。さらに、観光事業が持つ社会的役割や意義、そして今後求められる方向性について総合的に学習する。

到達目標

1. マスメディアからソーシャルメディアへの変遷が、観光客の行動に与えた影響を分析できる
2. 旅行業・宿泊業・運輸旅客業の仕組みや特徴、課題について理解する。
3. アニメや映画、ゲームなどのコンテンツが地域活性化に果たす役割と課題を指摘できる。
4. 現代社会における観光事業・観光メディアの可能性について説明できるようになる。

提出課題

課題レポートは、提出期限を厳守すること。期限を過ぎた場合は、いかなる事由があっても受け付けません。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

講義の約10分前に講義内容の理解を確かめるため講義毎に質問・コメント作成を行います。送付の講義では前回の講義内容に関する質問等に対してできるだけ回答いたします。

評価の基準

- ・授業回数の3分の1(5回を含む)以上を欠席すると評価を受ける資格がなくなります。
- ・課題のレポートは、指定した内容でのレポートを提出。
- ・評価については、授業態度（ミニッツ・ペーパー提出等）30%、課題レポート30%、期末テスト40%で総合的に評価する。
- ・毎回の出席確認は、キャンパスクロスを用いて実施します。
- ・「ミニッツ・ペーパー」の提出がない場合、出席は無効とします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・教室内での私語および飲食、不要な出入り、携帯電話の使用などは禁止します。
- ・授業開始から20分後の入室は禁止します。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

- ・テキストは使用せず、レジュメや資料中心に授業を進めます。
- ・講義の理解に役立つ文献や資料等は随時、授業中に紹介します。

授業計画

- 1 **ガイダンス**
事前学習：シラバスを読み、本講義に期待する内容を考えておく（60分）
事後学習：講義内容、受講ルールを理解する（60分）
- 2 **観光と観光事業・観光メディア（観光事業、観光メディアの概念について）**
事前学習：講義テーマに沿った観光関連の記事・情報を把握し問題点や課題を整理する。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- 3 **観光事業の現状（マストツーリスムからニューツーリスムの変遷）**
事前学習：講義テーマに沿った観光関連の記事・情報を把握し問題点や課題を整理する。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- 4 **ニューツーリスムにおける地域資源の活用（観光対象と観光資源）**
事前学習：講義テーマに沿った観光関連の記事・情報を把握し問題点や課題を整理する。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- 5 **ニューツーリスムの事例（ヘルスツーリスム）**
事前学習：ヘルスツーリスムに関する観光関連の記事・情報を把握し問題点や課題を整理する。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- 6 **ニューツーリスムの事例（エコツーリスム）**
事前学習：エコツーリスムに関する観光関連の記事・情報を把握し問題点や課題を整理する。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- 7 **ニューツーリスムの事例（グリーンツーリスム）**
事前学習：グリーンツーリスムに関する観光関連の記事・情報を把握し問題点や課題を整理する。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- 8 **ニューツーリスムの事例（産業ツーリスム）**
事前学習：産業観光に関する観光関連の記事・情報を把握し問題点や課題を整理する。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- 9 **ニューツーリスムの事例（ゲーミング）**
事前学習：ゲーミングに関する観光関連の記事・情報を把握し問題点や課題を整理する。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- 10 **ニューツーリスムの事例（文化ツーリスム）**
事前学習：文化観光・食文化・観光路線に関する観光関連の記事・情報を把握し問題点や課題を整理する。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- 11 **まとめ**
事前学習：これまでの授業内容を復習する（60分）
事後学習：観光事業論講義の全般について自分の見解をまとめる（60分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

目標（1）（2）の達成により、観光事業の全体を理解し、自ら課題を発見し解決する能力を身に付け、課題解決や価値創造に向けた行動へと導くことができる。目標（2）（3）（4）の達成が、ホスピタリティマインドメントを理解し、コミュニケーション能力の向上につながる。全目標に取り組みこで「観光事業」とは何かを考え、観光事業が及ぼす社会的・経済的役割を理解し、観光事業としての地域振興、マーケティングなどの分析による事業実施や課題、今後の展望や方向性などの知識を身につけることができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

オンライン授業は動画配信によって実施します。授業動画のURL、配付資料等、必要な連絡はRyukaポータル「講義連絡」で行います。講義に関する質問に対してはメールやレスポンスでも対応することになります。

実務経験の有無及び活用

備考

シラバスの内容は場合によって変更の可能性があります。